

70歳未満

令和6年12月27日
厚生労働省事務連絡
「高額療養費制度の見直しについて」より抜粋

別添

| 定率引上げ (R7.8~R8.7) | | | 細分化 | | R8.8~R9.7 | R9.8~ |
|----------------------|--------------------------------------|---|-----|--|---------------------------------|---------------------------------|
| 区分 | 要件 | 月単位の限度額 | 区分 | 要件 | 月単位の限度額 | 月単位の限度額 |
| ア | 年収：約1,160万円～ (月収：83万円～) | $290,400 + 1\%$ <多数回該当：161,100> $\left[\begin{array}{l} 252,600 + 1\% \\ \text{<多数回該当：140,100>} \end{array} \right]$ | 1 | 年収：約1,650万円～ (月収：127万円～) | 367,200 + 1% <多数回該当：203,700> | 444,300 + 1% <多数回該当：246,600> |
| | | | 2 | 年収：約1,410万円～約1,650万円 (月収：103万円～121万円) | 325,200 + 1% <多数回該当：180,300> | 360,300 + 1% <多数回該当：199,800> |
| | | | 3 | 年収：約1,160万円～約1,410万円 (月収：83万円～98万円) | 290,400 + 1% <多数回該当：161,100> | 290,400 + 1% <多数回該当：161,100> |
| イ | 年収：約770万円～約1,160万円 (月収：53万円～79万円) | $188,400 + 1\%$ <多数回該当：104,700> $\left[\begin{array}{l} 167,400 + 1\% \\ \text{<多数回該当：93,000>} \end{array} \right]$ | 4 | 年収：約1,040万円～約1,160万円 (月収：71万円～79万円) | 220,200 + 1% <多数回該当：122,400> | 252,300 + 1% <多数回該当：140,100> |
| | | | 5 | 年収：約950万円～約1,040万円 (月収：62万円～68万円) | 204,300 + 1% <多数回該当：113,400> | 220,500 + 1% <多数回該当：122,400> |
| | | | 6 | 年収：約770万円～約950万円 (月収：53万円～59万円) | 188,400 + 1% <多数回該当：104,700> | 188,400 + 1% <多数回該当：104,700> |
| ウ | 年収：約370万円～約770万円 (月収：28万円～50万円) | $88,200 + 1\%$ <多数回該当：48,900> $\left[\begin{array}{l} 80,100 + 1\% \\ \text{<多数回該当：44,400>} \end{array} \right]$ | 7 | 年収：約650万円～約770万円 (月収：44万円～50万円) | 113,400 + 1% <多数回該当：63,000> | 138,600 + 1% <多数回該当：76,800> |
| | | | 8 | 年収：約510万円～約650万円 (月収：36万円～41万円) | 100,800 + 1% <多数回該当：55,800> | 113,400 + 1% <多数回該当：63,000> |
| | | | 9 | 年収：約370万円～約510万円 (月収：28万円～34万円) | 88,200 + 1% <多数回該当：48,900> | 88,200 + 1% <多数回該当：48,900> |
| エ | 年収：～約370万円 (月収：～26万円) | $60,600$ <多数回該当：46,500> $\left[\begin{array}{l} 57,600 \\ \text{<多数回該当：44,400>} \end{array} \right]$ | 10 | 年収：約260万円～約370万円 (月収：20万円～26万円) | 69,900 <多数回該当：47,400> | 79,200 <多数回該当：48,300> |
| | | | 11 | 年収：約200万円～約260万円 (月収：16万円～19万円) | 65,100 <多数回該当：46,800> | 69,900 <多数回該当：47,400> |
| | | | 12 | 年収：～約200万円 (月収：～15万円) | 60,600 <多数回該当：46,500> | 60,600 <多数回該当：46,500> |
| オ | 住民税非課税 | $36,300$ <多数回該当：25,200> $\left[\begin{array}{l} 35,400 \\ \text{<多数回該当：24,600>} \end{array} \right]$ | 13 | 住民税非課税 | 36,300 <多数回該当：25,200> | 36,300 <多数回該当：25,200> |

※1 括弧内の金額は現行の限度額。 ※2 年収額は目安の額であり、実際の所得区分の判定基準には月収（標準報酬月額）等が用いられる。
 ※3 「+ 1%」とは、一定額を超える医療費に対して1%の自己負担を求めるもの。

70歳以上

| 定率引上げ (R7.8~R8.7) | | | 細分化 | | | R8.8~R9.7 | R9.8~ |
|----------------------|--------------------------------------|---|-----|---|--|--|---------|
| 区分 | 要件 | 月単位の限度額 | 区分 | 要件 | 月単位の限度額 | 月単位の限度額 | 月単位の限度額 |
| 現並 みⅢ | 年収：約1,160万円～ (月収：83万円～) | 290,400 + 1% <多数回該当：161,100> | 1 | 年収：約1,650万円～ (月収：127万円～) | 367,200 + 1% <多数回該当：203,700> | 444,300 + 1% <多数回該当：246,600> | |
| | | 252,600 + 1% <多数回該当：140,100> | 2 | 年収：約1,410万円～約1,650万円 (月収：103万円～121万円) | 325,200 + 1% <多数回該当：180,300> | 360,300 + 1% <多数回該当：199,800> | |
| | | | 3 | 年収：約1,160万円～約1,410万円 (月収：83万円～98万円) | 290,400 + 1% <多数回該当：161,100> | 290,400 + 1% <多数回該当：161,100> | |
| 現並 みⅡ | 年収：約770万円～約1,160万円 (月収：53万円～79万円) | 188,400 + 1% <多数回該当：104,700> | 4 | 年収：約1,040万円～約1,160万円 (月収：71万円～79万円) | 220,200 + 1% <多数回該当：122,400> | 252,300 + 1% <多数回該当：140,100> | |
| | | 167,400 + 1% <多数回該当：93,000> | 5 | 年収：約950万円～約1,040万円 (月収：62万円～68万円) | 204,300 + 1% <多数回該当：113,400> | 220,500 + 1% <多数回該当：122,400> | |
| | | | 6 | 年収：約770万円～約950万円 (月収：53万円～59万円) | 188,400 + 1% <多数回該当：104,700> | 188,400 + 1% <多数回該当：104,700> | |
| 現並 みⅠ | 年収：約370万円～約770万円 (月収：28万円～50万円) | 88,200 + 1% <多数回該当：48,900> | 7 | 年収：約650万円～約770万円 (月収：44万円～50万円) | 113,400 + 1% <多数回該当：63,000> | 138,600 + 1% <多数回該当：76,800> | |
| | | 80,100 + 1% <多数回該当：44,400> | 8 | 年収：約510万円～約650万円 (月収：36万円～41万円) | 100,800 + 1% <多数回該当：55,800> | 113,400 + 1% <多数回該当：63,000> | |
| | | | 9 | 年収：約370万円～約510万円 (月収：28万円～34万円) | 88,200 + 1% <多数回該当：48,900> | 88,200 + 1% <多数回該当：48,900> | |
| 一般 | 年収：～約370万円 (月収：～26万円) | 60,600 <多数回該当：46,500> 外来特例 18,000 (外来年間上限：144,000) | 10 | 年収：約260万円～約370万円 (月収：20万円～26万円) ※75歳以上：窓口負担2割 | 69,900 <多数回該当：47,400> 外来特例 28,000 (外来年間上限 224,000) | 79,200 <多数回該当：48,300> 外来特例 28,000 (外来年間上限 224,000) | |
| | | 57,600 <多数回該当：44,400> 外来特例 18,000 (外来年間上限：144,000) | 11 | 年収：約200万円～約260万円 (月収：16万円～19万円) ※75歳以上：窓口負担2割 | 65,100 <多数回該当：46,800> 外来特例 28,000 (外来年間上限 224,000) | 69,900 <多数回該当：47,400> 外来特例 28,000 (外来年間上限 224,000) | |
| | | | 12 | 年収：～約200万円 (月収：～15万円) ※75歳以上：窓口負担1割 | 60,600 <多数回該当：46,500> 外来特例 20,000 (外来年間上限 160,000) | 60,600 <多数回該当：46,500> 外来特例 20,000 (外来年間上限 160,000) | |
| 低Ⅱ | 住民税非課税 | 25,300 外来特例 8,000 24,600 外来特例 8,000 | 13 | 住民税非課税 | 25,300 外来特例 13,000 | 25,300 外来特例 13,000 | |
| 低Ⅰ | 住民税非課税 (一定所得以下) | 15,400 外来特例 8,000 15,000 外来特例 8,000 | 14 | 住民税課税 (一定所得以下) | 15,400 外来特例 8,000 | 15,400 外来特例 8,000 | |

※ 1 括弧内の金額は現行の限度額。 ※ 2 年収額は目安の額であり、実際の所得区分の判定基準には月収（標準報酬月額）等が用いられる。

※ 3 「+ 1%」とは、一定額を超える医療費に対して1%の自己負担を求めるもの。

令和7年度 特定健診・特定保健指導について

1 特定健診実施体制

(1)対象者 北九州市国民健康保険加入の40歳～74歳

(2)実施方法

個別方式：北九州市医師会加入の協力医療機関(約460機関)

集団方式：区役所や市民センター等(232回予定)、6月開始

(3)実施時期

通年：5月中旬以降に対象者約13万1千人に受診券送付(令和6年度実績)

2 特定保健指導実施体制

個別方式：特定健診を受診した個別医療機関で実施

集団方式：特定健診を受診した集団健診実施機関で実施

3 目標値と実績(法定報告値)

| 項目 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------------------|-----------------|---------|-------|-------|-------|-------|
| 特定 健診 受診率 | 目標値*1 | 44.0% | 48.0% | 52.0% | 56.0% | 60.0% |
| | 実績 | 34.2%*2 | 33.5% | 34.2% | 35.2% | 35.6% |
| | 政令市平均 | 29.1% | 26.4% | 28.1% | 29.5% | 30.4% |
| | 政令市順位 (20市中) | 5位 | 3位 | 4位 | 4位 | 4位 |
| 特定保 健指導 実施率 | 目標値*1 | 40.0% | 45.0% | 50.0% | 55.0% | 60.0% |
| | 実績 | 25.4%*2 | 18.9% | 19.3% | 20.2% | 20.8% |
| | 政令市平均 | 15.0% | 13.6% | 14.0% | 14.3% | 14.4% |
| | 政令市順位 (20市中) | 5位 | 6位 | 6位 | 6位 | 6位 |

*1 目標値は第三期特定健康診査等実施計画(平成30年度～令和5年度)による。

*2 令和元年度の受診率・保健指導実施率については、北九州市修正値(令和3年1月時点)

4 特定健診受診率及び特定保健指導実施率向上への取組

(1) 広報活動

市政だより、ホームページ、市民センターだより等に掲載

(2) 地域ボランティアによる働きかけ

健康づくり推進員・食生活改善推進員

(3) 健康づくり事業との連携

健康づくりアプリ(GO!GO!あるくっちゃKitaQ)、市民センターを拠点とした健康づくり事業(地域でGO!GO!健康づくり)やイベント等

- (4) 未受診者対策
未受診者に対し電話・ハガキ・SMS(ショートメッセージサービス)及び訪問による受診勧奨
- (5) かかりつけ医との連携
- (6) 集団検診の予約受付開始時期の変更
予約申し込みの集中を避け、より多くの市民の検診の予約・受診につなげるため、令和7年4月1日より予約開始日を「検診実施日の前月3日」から「検診実施日の3か月前」に変更し、利便性の向上を図るもの。

5 市国保として独自に実施している健診後の事後フォロー

- (1) 特定保健指導非対象者への対策
特定保健指導の対象外で、生活習慣病予防及び重症化予防が必要な者(受診勧奨値がある等)へ訪問や電話による保健指導を実施する。
また、各区・地区等で健診データ等の分析による対策を検討し、国保・後期高齢者医療において切れ目のない支援を実施する。
- (2) CKD※(慢性腎臓病)予防連携システムの推進
CKD(慢性腎臓病)予防連携システムで健診結果が基準に該当するものを、かかりつけ医、腎臓専門医の受診に円滑につなぎ、腎機能低下から人工透析への移行を予防する。また、CKD ヒートマップシールによる多職種連携による支援体制を整備する。
(※CKD…chronic kidney disease の略)
- (3) 糖尿病性腎症重症化予防対策
糖尿病性腎症重症化予防のため、「糖尿病連携手帳」を活用した多職種連携による支援体制の整備や、糖尿病の未治療者、治療中断者等に専門職による保健指導(訪問)を実施する。
- (4) 特定保健指導における市スポーツ施設での運動機会の提供事業
特定保健指導対象者のデータ改善に寄与するため、メタボリックシンドローム該当者に運動習慣を定着させ、肥満解消につなげるため、特定保健指導を受けた方に対して、市スポーツ施設定期券を配布(令和6年度から開始)
- (5) ICT を活用した特定保健指導モデル事業【新規】
就労等による時間の制約により、日中の連絡が困難なものに対して、ICT を活用した特定保健指導を行うもの。